

## ◎尾道の魚谷さんから学ぶ（平成28年6月2日）

尾道で屋形船を経営されている魚谷成生さん（有魚とら）をお迎えして、木原の海や海の生物についてお話を聞きました。



### アマモについて

「アマモ」は根が弱く、海に漂っていることが多く、船のスクリューに絡まることから「じゃまも」と言われていると教えていただきました。でも、海の生物にとっては、卵を産み付けたり、敵から隠れたりするために必要であるとおっしゃっていました。



### スナメリについて

約50年前に木原の海にいたそうです。魚谷さんが若いころには、よく船から見ることもできたとおっしゃっていました。エサ（イカナゴ）が減少したことで減ったのではないかとされていました。

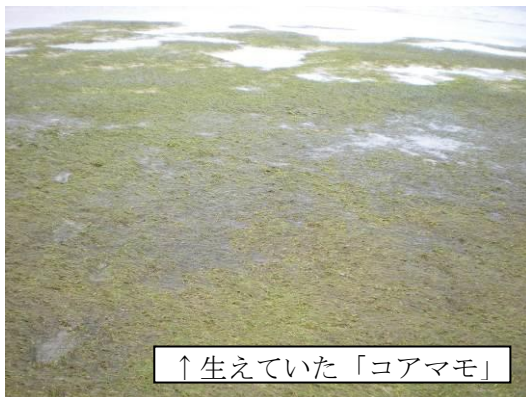


初めてアマモの種を見ることができました。丸くて、つるつる、硬い、小さいとの気づきを子供たちはもちました。

## ◎春の調査（平成28年6月17日）

尾道の魚谷さんのご協力のもと、水質、生物調査を行いました。

干潮時に出現する「ほそのす」に行きました。



### アマモ採取の予定⇒種類が違った！！

魚谷さんから「ほそのす」にもアマモが生えているということをお聞きしていたので、今回の調査でアマモ栽培に使うアマモを採取する予定でした。

しかし、「ほそのす」にあったのは「コアマモ」という栽培には適さない種類のものでした。ということで、今回は、採取せず、水質調査と生物調査を行うことにしました。

### 水質調査

- 水温…20℃
- COD…4ppm  
(パックテスト利用)

### 生物調査

砂の中に貝があったり、水たまりにいろいろな生物がいたりしました。





ツメタガイの卵



クロミル



ヒトデ



いろいろな貝や海藻、生物がいました



計画では、ほそのすの調査の後、鯨島の調査をする予定で舌が、時間がなくなり、今回は鯨島を調査することができませんでした。9月に鯨島の調査をすることにしました。

また、今回、アマモ栽培に使うアマモを採取できなかったため、後日担任がアマモを採取しました。



昨年度からご指導をいただいている、NPO大阪湾沿岸環境創造研究センターの岩井克己先生に教えていただきました。